

こんにちは!

地域包括支援センターです!



朝日センター長

地域包括支援センターは、高齢者の皆さんが、住み慣れた地域で安心して暮らしていくために、介護、福祉、健康、医療など、さまざまな面から総合的に支えるための機関です。

平成21年4月から、高齢者福祉施策の一体的な運営を行うために、健康福祉部に地域包括支援センターを置き、新たな体制で対応させていただきます。積極的にご利用ください。

保健師・看護師

介護保険の要介護認定で要支援と認定された人などを対象に、一人一人の生活に合わせた支援計画を作ります。また、皆さんの今の状態に合わせた介護予防をお手伝いします。

主任ケアマネジャー

地域のケアマネジャーが円滑に仕事ができるよう支援し、より暮らしやすい地域にするために、さまざまな機関とのネットワークづくりを行います。

専門職が連携して取り組みます!

社会福祉士

さまざまな相談を受け、必要なサービスや機関、制度の利用につなげます。高齢者の権利を守るために、成年後見制度の紹介をしたり、虐待を早期に発見したり、消費者被害などに対応します。

高齢者の皆さんやその家族、近隣に暮らす人の介護に関する悩みなど、お気軽にご相談ください!

所在地	電話番号	開設日
〒505-0041 美濃加茂市太田町1900番地 美濃加茂市役所 分庁舎 3階	☎ 直通電話 24-7370・24-7371 F A X 24-7447	月曜日～金曜日 午前8時30分～午後5時15分 ※祝日、12月29日～1月3日を除きます ※上記の日以外は転送による電話対応となります

問 地域包括支援センター 内線504

お父さんもがんばれ!

先日、あるテレビ番組で、育児休暇を取得して、家事・育児に奮闘している男性の様子を特集していました。

この男性は、なぜ、妻ではなく自分が育児休暇を取得するのを上司や同僚に理解してもらうため、プレゼンテーションを行って、勤め先で初めての男性育児休暇取得者になりました。

「仕事のチャンスを失うよりも、この子の成長を見逃すことのほうが怖かった」

とても印象に残る言葉でした。

子どもが小さい時期は、あっという間に過ぎていきます。でも、この子の「今」は「今」しかなく、成長の瞬間は見逃してしまつたら、取り返すことはできません。しかし、仕事はずっと続いています。同僚より遅れた期間は、がんばれば取り返すことができます。

「育児休暇をとって、1週間で3kgやせました」

エプロンをしてキッチンに立ち、ちよっぴりぎこちない手つきで離乳食を作るパパさんの笑顔は、とびつきり輝いていてすてきでした。この男性の妻も、「保育園ではなく、夫に預けるのですから、わたしも安心して仕事ができます」と、ほほ笑んでいました。

家事や育児を「女性の仕事」と決め付けているのではなく、自分もやってみようとして実行していける男性がどんどん増えていくといいですね。

(文責 日比野)

シリーズ

男女共同参画

24

ひと男とひと女